

エイトが著効した 卵巣チョコレート嚢胞を伴う子宮内膜症 合併原発性不妊症の一例



聖順会
ジュノ・ヴェスタクリニック 八田
理事長・院長
八田 真理子 先生



【患者背景】

症例:34歳女性

既往歴：2015年（26歳）

右卵巣嚢腫（simple cyst）腹腔鏡下手術（吸引のみ）

2020年7月～2022年5月

子宮内膜症、子宮筋腫の治療目的でフリウェルULD

1か月で血栓症リスクありジェノゲスト2mg/日へ変更、32歳結婚で服用中止。

経過：

半年間の不妊、挙児希望にて2022年12月当院を初診。

3cm程度の筋層内筋腫、左卵巣チョコレート嚢胞(21.5×12.5mm)あり、
子宮可動悪く、ダグラス窩に圧痛あり。

CA125 29 FSH 2.28 TSH1.60 E2 164 当帰芍薬散処方開始。

2023年2月よりHSG後タイミング療法施行。

卵胞発育良好だが、性交後試験（PCT）不良。月経困難症増悪、
卵巣チョコレート嚢胞も増大傾向認める。

排卵期にhCG5000単位皮下注、黄体期にデュファストン錠2T×14日

2023年3月 左卵巣チョコレート嚢胞25mmに増大 CA125 53

妊娠に至らず月経の度に痛みが増強し、年齢的にも生殖補助医療を希望。
子宮内膜症合併不妊治療は、逆行した治療になるため、痛みの増強は避けられない。排卵期～月経中にかけて腰部～下腹の痛みが特に強く、ロキソニンも効き辛く、疼痛管理に苦慮している患者に、疼痛緩和を期待しエイトを紹介する。

【エイトを使用して】

排卵期～月経前日：腰～臀部 30分毎日使用（VAS:53/13日）

月経中：下腹部 30分毎日使用（VAS:32/6日）

月経後～排卵期：下腹部及び腰～臀部 30分毎日使用（VAS:10/9日）

排卵期～月経前日は著効みられなかったが、月経中は前回より疼痛緩和され、月経後～排卵期はほぼ痛みを感じなかった。

「バッテリーの消耗の早さは感じるが、固定は腹巻きでうまくできた」と感想をいただいた。

【エイトに期待する事】

子宮腺筋症や子宮内膜症、子宮筋腫は強い月経痛を伴うことがある疾患であり、不妊症を合併することも多い。挙児希望がなければ、排卵を抑制し痛みを軽減するホルモン治療が優先されるが、不妊治療では妊娠成立に排卵が必要であり、これらの疾患の憎悪の要因となり、患者は妊娠が不成立だった悲しみと強い月経痛の二重の苦しみを伴うことになる。そのため、非ホルモン治療であるエイトは、このような症例には非常に有効であると考ええる。



薬事情報

販売名：エイト

承認番号：30400BZX00015000

一般的名称：交番磁界治療器

医療機器クラス分類：クラスII

（管理医療機器 特定保守管理医療機器）

株式会社P・マインド

〒861-5525

熊本県熊本市北区徳王2-8-6

TEL 050-3160-8350

MAIL contact@p-mind.co.jp